

## 考査項目別運用表

( 監 督 員 )

| 考 査 項 目 | 細 別  | スロープ状配点方式  | d  | e   |
|---------|--|--|--|---|
| 1. 施工体制 | I. 施工体制一般  | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工体制一般について是正を要求すべき事項がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が現場条件を反映して十分（遺漏や不足がないことをいう。以下同じ）であった。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図の記載内容、備置及び掲示方法が十分であった。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能していた。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請契約が適正であるなど、当該工事に関して「鹿児島県建設業法ホットライン」への通報又は「元請下請関係に関する相談窓口」への相談がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 受注者がある下請人の社会保険（健康保険、年金保険及び雇用保険）の加入状況を確認しており、作業員名簿に社会保険欄が空欄の者がいない。</li> <li><input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に加入しており、工事現場の見やすい場所に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示している。</li> <li><input type="checkbox"/> 電子納品レベルが2.0以上である。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、船舶、機械配置の施工となっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</li> </ul> |
|         | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 1.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (11)</p> |  |  |   |
|         | II. 配置技術者<br>(現場代理人等)                                      | <p>スロープ状配点方式</p> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 配置技術者について是正を要求すべき事項がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 監督職員への報告を適時及び的確に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件（作業環境、気象、地質等）への対応を図っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請が行った施工管理について、受注者がある内容をチェックしていたことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 監理（主任）技術者が、法令、仕様書その他の基準を把握した上で、指導を行っている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</li> </ul>  |
|         | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 3.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (10)</p> |  |  |   |

### 考査項目別運用表

(監督員)

| 考査項目    | 細別       | スロープ状配点方式  | d  | e   |
|---------|----------|--|--|---|
| 2. 施工状況 | I. 施工管理  | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工管理について是正を要求すべき事項がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。</li> <li><input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事写真を含む施工管理に関するデータを、第三者でもわかるように整理している。</li> <li><input type="checkbox"/> できる範囲で、工事打合簿を電子化している。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場環境改善（イメージアップ）を行った。</li> </ul> | <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |
|         | II. 工程管理 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 工程管理について是正を要求すべき事項がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 当初工程表が現場条件を反映したものとなっており、クリティカルパス等を把握することができた。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 変更工程表が適時に更新されていた。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 受注者に直接の原因のない理由により、工程が遅れる制約が生じた場合において、遅延を回避するために工程の変更を行った。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 発注者からの要請に基づいて工程の短縮を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 受注者に直接の原因のある工期の遅れがなかった。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 現場閉所による週休2日を確保している。</li> </ul>  | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |

◆判定基準  
加減点 ( ) = 4. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 ( 12 )

◆判定基準  
加減点 ( ) = 4. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 ( 8 )

## 考査項目別運用表

( 監 督 員 )

| 考 査 項 目  | 細 別     | スローブ状配点方式  | d  | e   |
|--|---------|--|--|---|
|  | Ⅲ. 安全対策 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 安全対策については是正を要求すべき事項がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害防止協議会等（受注者が主催して、工程や事故防止対策について協議する会合）を、混在作業が発生する日から4週間に1回以上行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を工事着手日から4週間に1回以上実施した。</li> <li><input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、工事事務（工事関係者事故及び公衆損害事故）に関する法令遵守等の減点がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 過積載を行っていない、過積載を繰り返している業者から資材等を購入していない、かつ積載装置に不正改造をした車両が現場に出入りしていなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 仮設の点検を、チェックリストを用いて実施した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事に必要な機械等（機械、器具その他の設備）の備付け及び管理が適正であった。</li> <li><input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業限界条件（気象海象に応じて作業を中止する基準）を事前に設定して、作業員に周知していた。</li> <li><input type="checkbox"/> 自然災害に対する事前の防災対策が十分で、受注者に直接の原因がある第三者被害が発生しなかった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</li> </ul> |
| <p>◆判定基準<br/>加減点（ ） = 5.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（11）</p> |         |  |  |   |
|  | Ⅳ. 対外関係 | <p>スローブ状配点方式</p> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 対外関係については是正を要求すべき事項がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 第三者からの苦情（工事の施工方法に関するものに限る）がなかった。あった場合は十分な対応を尽くした。</li> <li><input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</li> </ul> |
| <p>◆判定基準<br/>加減点（ ） = 2.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（6）</p>  |         |  |  |   |

### 考査項目別運用表

(監督員)

| 考査項目  | ばらつきの判定  |  |  | d   | e   |
|---|--|--|--|---|---|
| 3. 出来形及び出来ばえ<br><br>I. 出来形  | <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った |
| ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。   |  |  |  |   |   |
| ① 出来形の判定は、工事全般を通じて判定するものとする。<br>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。<br>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」等の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。  |  |  |  |   |   |
| ①機械設備工事<br><br>※上記欄によらず、当該欄で評価  | スロープ状配点方式  |  |  | d   | e   |
| ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 承諾図書が、設計図書を満足している。<br><input type="checkbox"/> 施工図書が、設計図書を満足している。<br><input type="checkbox"/> 衛生工事について、出来形が設計図面を満足し、十分な施工である。<br><input type="checkbox"/> 空調工事について、出来形が設計図書を満足し、十分な施工である。<br><input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。<br><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。<br><input type="checkbox"/> 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。<br><input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準に基づき管理するなど、出来形の管理方法を工夫している。<br><input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。<br><input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 |  |  |  |   |   |
| <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。   |  |  |  |   |   |
| <input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。  |  |  |  |   |   |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 4.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (10)   |  |  |  |   |   |

考査項目別運用表

(監督員)

| 考査項目   | 工種  | スロープ状配点方式  | d  | e   |
|--|---|--|--|---|
| <p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>I. 出来形</p>                          | <p>②電気設備工事<br/>通信設備工事・<br/>受変電設備工事</p> <p>※上記欄によらず、当該欄で評価</p> | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 承諾図書が、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工図書が、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来形（形状及び寸法、数量）が設計図面を満足し、十分な施工である。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来形（設備の据付及び支持間隔、固定方法等）が設計図書を満足し、十分な施工である。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来形（回路、極性、絶縁抵抗、接地抵抗等）が設計図書を満足し、十分な施工である。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来形（行き先表示等）が設計図書を満足し、十分な施工である。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準に基づき管理するなど、出来形の管理方法を工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</li> </ul> | <p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p> | <p><input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> |
| <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 4.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (11)</p> |   |  |  |   |
|  | <p>③建築工事</p> <p>※上記欄によらず、当該欄で評価</p>                           | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来高が設計図書を満足し、適切な施工である。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来高の管理基準に基づき、管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来高の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来高の管理方法を工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</li> </ul>   | <p><input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p>           | <p><input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> |
| <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 4.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (8)</p>  |   |  |  |   |

考査項目別運用表

(監督員)

| 考査項目   | a  | b   | c   | d  | e  |
|--|--|---|---|--|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ<br><br>II. 品質   | <input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。<br><br>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | <input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。 | <input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。 |
| 20. 機械設備<br><br>工事<br><br>※上記欄によらず、当該欄で評価  | スロープ状配点方式  |   |   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 衛生工事について施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 空調工事について施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 衛生工事について、システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 空調工事について、システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 関連工事と機器配置の調整に必要な総合図等を作成し、内容が設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設置器具の品質が良好で、傷や汚れがなく美観が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器据付について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 配管工事について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 保温工事について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装工事について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 土工事について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> ダクト工事について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 計装工事・自動制御工事について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 耐震施工について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 他許可業種の施工内容について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真が工事写真の撮り方等に基づき適切に整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための自主検査記録等の施工管理記録が適切に整備されている。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆判定基準</p> <p style="text-align: center;">加減点 ( ) = 5.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (19)</p> </div> |  |   |   |  |  |

考査項目別運用表

(監督員)

| 考査項目   | 工種   | スロープ状配点方式  | d   | e   |
|--|--|--|---|---|
| <p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II. 品質</p>                          | <p>30. 電気設備工事<br/>通信設備工事・<br/>受変電設備工事</p> <p>※上記欄によらず、当該欄で評価</p> | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 関連工事と機器配置の調整に必要な総合図等を作成し、内容が設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設置器具の品質が良好で、傷や汚れがなく美観が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 機材及び施工の品質が操作性や安全性が考慮されており、良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 配管、配線工事について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 耐震施工について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 他許可業種の施工内容について、施工要領等が適切に作成され品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真が工事写真の撮り方等に基づき適切に整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための自主検査記録・工場試験等の施工管理記録が適切に整備されている。</li> </ul> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため監督員が文書で改善指示を行った。</p>  | <p><input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> |
| <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (12)</p> |  |  |   |   |
|  | <p>③維持・修繕工事</p> <p>※上記欄によらず、当該欄で評価</p>                           | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。</li> <li><input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。</li> <li><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。</li> </ul>   | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p> | <p><input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> |
| <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)</p>  |  |  |   |   |

考査項目別運用表

(監督員)

| 考査項目   | 工種                                    | スロープ状配点方式  | d   | e   |
|--|---------------------------------------|--|---|---|
| <p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II. 品質</p>                          | <p>④港湾浚渫工事</p> <p>※上記欄によらず、当該欄で評価</p> | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 一般船舶に十分注意して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業船（機械）が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないよう施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られている。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂処分における土質改良が適切に行われ施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂の含水比等に考慮し、土砂の処分、仮置を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘土砂に、かつ大物等が混入していた場合、適正に分別処理され施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂仮置場における飛散防止や排水を考慮した対策を講じて施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> 必要以上に余掘を行わないなど、精度良く浚渫することで、土砂処分量の縮減に努めた。</li> </ul> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため監督員が文書で改善指示を行った。</p>  | <p><input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> |
| <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (11)</p> |                                       |  |   |   |
|  | <p>⑤建築工事</p> <p>※上記欄によらず、当該欄で評価</p>   | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、制作図等により確認でき、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の品質が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録が整備されている。</li> </ul>  | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p> | <p><input type="checkbox"/> 建設工事請負契約書第16条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p> |
| <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p>  |                                       |  |   |   |

## 考査項目別運用表

( 監 督 員 )

| 考 査 項 目 | 細 別                         | 工 夫 事 項  |
|---------|-----------------------------|--|
| 5. 創意工夫 | I. 創意工夫                     | <p><b>【施工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書で指定されていないコンクリート二次製品等を利用して工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等に関する工夫を行って工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械等に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工、仮橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> ICT（情報通信技術）を活用した情報化施工を取り入れたことにより、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 自主的に、特殊な工法や材料を用いて、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 自主的に、優れた技術力又は能力として評価する技術を用いて、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> NETISの「有用な新技術」に登録された技術を活用したことにより、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 配筋、溶接作業等に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全衛生教育に関する工夫を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 現在の法令の基準を上回る安全対策を実施した。(法律で義務化される前に取り入れた安全対策や任意の安全対策ほか)</li> <li><input type="checkbox"/> 現場事務所等の働く環境を快適にする工夫を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 熱中症防止のために、こまめに休憩時間を設定し、高温時には作業を中断した。</li> <li><input type="checkbox"/> 一般通行車両や歩行者との交通事故の防止に関する工夫を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 熱中症防止のために効果がある装置を設置し、又は機材を作業員に支給した。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 環境汚染の防止に関する工夫を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 海上事故の防止に関する工夫を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場閉所による週休2日を達成した。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> ICT（情報通信技術）を活用した情報化施工、遠隔臨場、情報共有システムに取り組んだ。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設キャリアアップシステムを活用した。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質証明制度を活用して品質の確保に努めた。</li> </ul> |
|         | 記述評価<br>(レマークを付した評価内容を詳細記述) | <p>●加減点は1項目あたり1点で、7点が上限。</p> <p style="text-align: center;">評 点 : _____ 点</p> <p style="text-align: center;">(0点～7点)</p>   |

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。  
 ※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1、2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。  
 ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。  
 ※4. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。

## 考查項目別運用表

**(主任監督員)**

| 考 査 項 目 | 細 別   | スロープ状配点方式  | d | e |
|---------|---|--|---|---|
| 2. 施工状況 | II. 工程管理  | <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 行政機関以外の第三者と工程調整が必要となった場合に、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 行政機関と工程調整が必要となった場合などに、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 特定建設作業（騒音規制法及び振動規制法が定める一定規模以上の作業）を休日や夜間に行わなかった。または休日や夜間に行う特定建設作業の期間が最小となるように工程を調整した。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程管理に不備がなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害復旧工事のほか、標準的な工期より短い工期が設定された工事を予定通り完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工箇所が広範囲に点在している工事（施工場所が3箇所以上あり、それらの間隔が直線距離で100mを超えるもの）を、遅延なく完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場閉所による週休2日を達成した。</p> |   |   |
|         | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 2.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (7)</p> |  |   |   |
|         | III. 安全対策   | <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策の取組みが、OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム）又はISO45001等で認証されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 下請混在現場において、総括安全衛生責任者又は店社安全衛生管理者を置いていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 職長が中心となって、ツールボックスミーティングを行って安全対策を推進した。</p> <p><input type="checkbox"/> KY活動で提案された安全対策を採用した。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全協議会に参加していた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事用車両の通行に起因する交通事故を防止するための対策を行った。（臨時のカーブミラーの設置、すれ違い場所の拡幅や整地、通学路の路肩の草払いほか）</p>   |   |   |
|         | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 3.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p> |  |   |   |

## 考査項目別運用表

**（主任監督員）**

| 考 査 項 目 | 細 別   | 対 応 事 項   | 【 事 例 】 具 体 的 な 施 工 条 件 等 へ の 対 応 事 例  |
|---------|---|---|--|
| 4. 工事特性 | I. 施工条件等への対応  | I 構造物の特殊性への対応<br><input type="checkbox"/> 1.対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模が特殊な工事<br><input type="checkbox"/> 2.対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事<br><br>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば <b>4点の加点</b> とする。  | (1. について)<br>切土の土工量：20万m <sup>3</sup> 以上、盛土の土工量：15万m <sup>3</sup> 以上、護岸・築堤の平均高さ：10m以上、トンネル(ｼｰﾙﾄﾞ)の直径：8m以上、ダム用水門の設計水深：25m以上、樋門又は樋管の内空断面積：15m <sup>2</sup> 以上、揚排水機場の吐出管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長：25m以上、堰又は水門の径間数：3径間以上、堰又は水門の扉体面積：50m <sup>2</sup> /門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ：20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積：100m <sup>2</sup> 以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積：300m <sup>2</sup> 以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深：10m以上、地滑り防止工：幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量：100万m <sup>3</sup> 以上、流路工の計画高水流量：500m <sup>3</sup> 以上、砂防ダムの堤高：15m以上、ダムの堤高：150m以上、転流トンネルの流下能力：400m <sup>3</sup> /s以上、橋梁下部工の高さ：30m以上、橋梁上部工の最大支間長：100m以上<br><br>(2. について)<br>・設計図書と現地地形の相違により、受注者が行った測量結果に基づいて大幅な設計変更（変更額が当初契約額の1割を超える）をした工事<br>・次のいずれかの工事。①軌道内の工事と連携して施工する工事。②出水期（6～9月）に河川堤外地又は溪流で施工する工事<br>・供用中の道路トンネルの工事<br>・ケーソンの回航距離が25海里以上の工事<br>・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事<br>・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。<br>・地山強度が低い又は土被りが薄いため、地山の変位を毎日計測しながら施工した工事 |
|         |   | II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応<br><input type="checkbox"/> 3.地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事<br><input type="checkbox"/> 4.周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事<br><input type="checkbox"/> 5.周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事<br><input type="checkbox"/> 6.現道上での交通規制に大きく影響する工事<br><input type="checkbox"/> 7.緊急時に対応が特に必要な工事<br><input type="checkbox"/> 8.施工箇所が広範囲にわたる工事（施工場所が3箇所以上あり、それらの間隔が直線距離で100mを超えるもの）<br><input type="checkbox"/> 9. 特殊な海上工事、圧気ケーソンその他の危険を伴う工事<br><br>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば <b>6点の加点</b> とする。 | (3. について) 下記のいずれかに該当すれば加点する。<br>・供用中の軌道又は道路の直上又は直下で作業する工事<br>・工事現場に隣接する建物が変動するおそれ又は地下埋設物に悪影響が及ぶおそれがあり、これを回避する対策を行う必要がある工事<br>・工事発注後の監視の結果に基づき、大幅な工法の変更（変更額が当初契約額の1割を超える）を行った工事<br><br>(4. について)<br>・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。<br>・工事発注後に、環境対策や第三者の同意・協力を必要とし、それが工程上のクリティカルパスになった工事<br>・工事発注後に、夜間作業を指示された工事又は1日の作業可能時間が標準より短縮された工事。<br><br>(5. について) ・トンネル工事を除く夜間工事。<br>・D I D地区での工事。<br><br>(6. について)<br>・日交通量が概ね5000台以上の道路又は自動車専用道路において、交通誘導を行いながら施工する工事。<br>・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。<br>・夜間工事の翌朝に交通開放を行う施工期間が1月以上ある工事<br><br>(7. について)<br>・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。<br><br>(8. について)<br>・作業現場が3箇所以上あり、それらの間隔が直線距離で100mを超える工事。<br><br>(9. について)<br>・定期旅客船の航路に接して海上工事を行う工事<br>・ゲージ圧が0.1MPa以上の高圧室内作業を伴う工事<br>・次のいずれかの工事。①酸素欠乏危険場所で作業を行う必要がある工事、 ②有毒ガス、可燃性ガス、じん肺の対策が必要な工事、 ③掘削の高さ又は深さが10m以上である場所に作業員を立ち入らせる必要がある工事                              |
|         |   | III 厳しい自然・地盤条件への対応<br><input type="checkbox"/> 10.特殊な地盤・地理的条件への対応が必要な工事<br><input type="checkbox"/> 11.雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事<br><input type="checkbox"/> 12.急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事<br><input type="checkbox"/> 13.動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事<br><input type="checkbox"/> 14.厳しい海象条件の下で行う工事<br><br>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば <b>4点の加点</b> とする。   | (10. について)<br>・工事発注後に地下水位が高いことが判明したことから、広範囲にわたる地下水位の低減対策を必要とした工事<br>・支持地盤の形状が複雑なため、地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事<br><br>(11. について)<br>・降雨、風雪等の自然条件の影響を受けて稼働率が安定しない工事・高温により作業員の稼働率が低下する工事<br>・冬季風浪（11月～2月）の影響を受けて作業船の稼働率が安定しない工事<br><br>(12. について)<br>・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）。<br>・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。<br>・土石流危険渓流に指定された区域内における工事<br><br>(13. について)<br>・自然公園法の特別地域内で行う工事又は条例等によって工作物の新築・改築若しくは土地や海底の形状の変更について規制を受ける地域で行う工事<br><br>(14. について)<br>・潮流が早い又は潮位差が大きいため作業船の位置保持が困難である工事  |
|         | IV 長期工事における安全確保への対応<br><input type="checkbox"/> 15.12ヶ月を超える工事において、工事事故（工事関係者事故及び公衆損害事故）に関する法令遵守等の減点がなかった工事<br><br>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば <b>6点の加点</b> とする。 |   |  |
|         | 評 価   | 評 点： _____ 点  |  |

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。※2. 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。

### 考査項目別運用表

(主任監督員)

| 考査項目    | 細別         | スロープ状配点方式   | b' | c |
|---------|------------|---|----|---|
| 6. 社会性等 | I. 地域への貢献等 | <p>●評価対象項目</p> <p>※地域貢献活動は受注者の自主的な活動であるから、発注者側から強要するようなことはあってはならない。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事現場周辺（現場と同じ大字（市内の場合は町）の範囲をいう。以下同じ。）の共有用地や共有施設（学校、バス停を含む）の整備や修繕等を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事現場周辺で一般向けの憩いのサービスを提供した（トイレの開放、観光案内、木陰のベンチほか）。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該工事に関する広報（SNSによる電子版を含む）を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事現場周辺で、除草又は清掃等の美化作業を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事現場周辺の地域の行事に参加若しくは協賛し、又は準備の支援をした。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事現場周辺の地域がかかえる課題に対して協力活動を行った。災害救援活動（降灰、積雪を含む）、環境保全活動（生態系保全のための外来動植物の駆除を含む）、集落支援活動その他。</p> <p><input type="checkbox"/> 指定主要資材7品目に該当する資材はすべて県産資材を使用した。</p> |    |   |

◆判定基準

加減点（ ） = 10.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（7）

## 考査項目別運用表

**(主任監督員)**

| 考査項目   | 法令遵守等の該当項目一覧表   |       |
|--|---|-------|
| 7. 法令遵守等   | 措置内容  | 点数    |
|  | <input type="checkbox"/> 1.指名停止3ヶ月以上  | - 20点 |
|  | <input type="checkbox"/> 2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満   | - 15点 |
|  | <input type="checkbox"/> 3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満   | - 13点 |
|  | <input type="checkbox"/> 4.指名停止2週間以上1ヶ月未満   | - 10点 |
|  | <input type="checkbox"/> 5.文書注意   | - 8点  |
|  | <input type="checkbox"/> 6.口頭注意   | - 5点  |
|  | <input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合   | - 3点  |
|  | <input type="checkbox"/> 8.その他<br><div style="display: flex; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">{</span> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid black; margin: 0 5px;">理由:</div> <span style="font-size: 2em; margin-left: 5px;">}</span> </div> | - 点   |
|  | <input type="checkbox"/> 9.項目該当なし   |       |
| <p>① 本考査項目（7.法令遵守等）で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減ずる措置を行う。</p> <p><b>【上記で評価する場合の適応事例】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。</li> <li>2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</li> <li>3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> <li>4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。</li> <li>6.一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</li> <li>7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</li> <li>8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</li> <li>10.下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</li> <li>11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。</li> <li>12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>13.下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>14.安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</li> <li>15.総合評価落札方式工事の配置技術者がやむを得ない理由で途中交代し、配置予定技術者の能力加算点を満たさない場合は、5点減点する。</li> <li>16.総合評価落札方式工事において、技術資料で建設キャリアアップシステムの運用を誓約し、実際に履行していることが確認できない場合は、2点減点する。</li> <li>17.発注者指定型の週休2日試行工事において、施工計画書提出時に提出された工程表が明らかに週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合、または、受注者の責により確保できない場合は、2点減点する。</li> </ol> |   |       |

### 考査項目別運用表

( 検 査 員 )

| 考 査 項 目 | 細 別     | スロープ状配点方式  | d   | e  |
|---------|---------|--|---|--|
| 2. 施工状況 | I. 施工管理 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 受注後、遅滞なく設計図書の照査を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 変質しやすい工事材料の保管方法が十分であった。</li> <li><input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図の記載内容、備置及び掲示方法が十分であった。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に渡って行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> できる範囲で、工事関係書類を電子化している。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 ( 12 )</p> </div> | <p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。</p> | <p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> |

### 考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目   |                                   | スロープ状配点方式   | d  | e   |
|--|-----------------------------------|---|--|---|
| 3. 出来形及び出来ばえ<br><br>I. 出来形                     | 10. 土木一般                          | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 出来形管理のデータについて、第三者でも把握できるように、測定位置及び測定方向を全体図に記載して、体系的にまとめている。<br><br><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。<br><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。<br><input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。  | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。                | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。              |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 10.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)  |                                   |   |  |   |
|  | 20. 機械設備工事<br><br>※上記欄によらず、当該欄で評価 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><br><input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><br><input type="checkbox"/> 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。<br><br><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準に基づき管理するなど、出来形の管理方法を工夫している。<br><input type="checkbox"/> 現場における出来形が、設計図書を満足し、十分な施工であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。<br><input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。<br><input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 | やや劣っている<br><br><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | 劣っている<br><br><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 10.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (10) |                                   |   |  |   |

### 考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目  | 工種   | スロープ状配点方式   | d   | e  |
|---|--|---|---|--|
|   |  |   | やや劣っている   | 劣っている  |
| 3. 出来形及び出来ばえ<br><br>I. 出来形                            | 30. 電気設備工事<br>通信設備工事・受変電<br>設備工事                       | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準に基づき管理するなど、出来形の管理方法を工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来形（形状及び寸法、数量）が設計図書を満足し、十分な施工であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来形（設備の据付及び支持間隔、固定方法等）が設計図書を満足し、十分な施工であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来形（回路、極性、絶縁抵抗、接地抵抗、行き先表示等）が設計図書を満足し、十分な施工であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</li> </ul>     |
|   | <p>◆判定基準<br/>加減点 ( ) = 10.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (11)</p> |   |   |  |
|   | 40. 建築工事   | スロープ状配点方式   | d   | e  |
|   | ※上記欄によらず、当該欄で評価  | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場における出来高が設計図書を満足し、適切な施工である。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来高の管理基準に基づき、管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形の管理記録が、適切にまとめられており、結果が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形の管理方法を工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切に処分をしていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督員が文書で指示し改善された。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 出来形が不適切であったため、工事請負契約第27条に基づく修補指示を検査員が行った。</li> </ul> |
| <p>◆判定基準<br/>加減点 ( ) = 10.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (8)</p> |  |   |   |  |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目  | 工種                       | スロープ状配点方式   | d   | e  |
|---|--------------------------|---|---|--|
| <p>3. 出来形<br/>及び<br/>出来ばえ</p> <p>II. 品質</p> | <p>①コンクリート<br/>構造物工事</p> | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 打ち継ぎ面では、レイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒を取り除き、表面を粗にし、十分に吸水させた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね接手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視検査した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。</li> <li><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点（ ） = 15.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（13）</p> </div> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>加減点=-12.5点</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p> <p>加減点=-25点</p> |

|                           | スロープ状配点方式  | d   | e  |
|---------------------------|--|---|--|
| ②土工事<br>(切土、盛土、<br>築堤等工事) | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 雨水による崩壊を防止するために必要であると判断した場合に、自主的に表面排水（トレンチ等）を実施した。</li> <li><input type="checkbox"/> 地山に勾配（4割より急）がある部分では、盛土を行う前に段切りを行って滑動を防止した。</li> <li><input type="checkbox"/> 軟弱な粘性土の場合に、こね返しによる強度低下を回避するために掘削面以下を乱さないように注意して施工した。</li> <li><input type="checkbox"/> 締固めは、含水比を計測しながら、又はブルーローリングで確認しながら施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 芝や種子が雨水で流出しないように固定した。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めは、構造物に偏土圧をかけないように、薄層で左右均等に行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 土羽土には、現場の良質土を選んで用いた。</li> <li><input type="checkbox"/> 土質試験に基づいて品質管理を行っていた。</li> <li><input type="checkbox"/> 法面にゆがみや水平方向の亀裂がみられない。</li> <br/> <li><input type="checkbox"/> 伐開除根が十分で、盛土部に草木などの腐食物を巻き込んでいない。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点（            ） = 15.0点 × 該当項目数（    ） / 全項目数（11）</p> </div> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>加減点=-12.5点</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p> <p>加減点=-25点</p> |

### 考查項目別運用表

|   |   |   |    |   |    |       | (検査員)  |   |
|---|---|---|----|---|----|-------|--|---|
| 考查項目  | 工種  |   |    |   |    |       | d  | e   |
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質  | ③護岸・根固・<br>水制工事   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて d 又は e 評価とする）</li> </ul> |    |   |    |       | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
|   | ◆判定基準<br>加減点（ ） = 15.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（14）   |   |    |   |    |       |  |   |
|   | ④鋼橋工事<br><br>(RC床版工事は<br>コンクリート構<br>造物に準ずる)   | a   | a' | b | b' | c     | d  | e   |
|   | 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80%を超える、□ばらつきで判断不可能 |   |    |   |    |       | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
| ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。<br>② 削除の項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。<br>③ 評価値（ % ） = 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ）<br>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。 |   |   |    |   |    |       |  |   |
|   |   |   |    |   |    | ●判断基準 |  |   |
| 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。   |   |   |    |   |    |       |  |   |

### 考查項目別運用表

(検査員)

| 考查項目                               | 工種   | a  | a' | b | b' | c | d   | e  |
|------------------------------------|--|--|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑤砂防構造物工事<br>及び<br>地すべり防止工事<br>(集水井工事を含<br>む) | <p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br/>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br/>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80%を超える、□ばらつきで判断不可能</p> <p>●評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。</p> <p><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。</p> <p><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。</p> <p><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地山とのすりつけがスムーズである。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）</p> <p>【砂防構造物工事に適用】</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>【地すべり対策工事（抑止杭・集水井戸工事を含む）】</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</p> |    |   |    |   | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>加減点=-12.5点</p>   | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p> <p>加減点=-25点</p> |
|                                    |  |  |    |   |    |   | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )</p> </div> |  |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                               | 工種    | a  | a' | b | b' | c | d   | e   |
|------------------------------------|-------|--|----|---|----|---|---|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑥舗装工事 | 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80%を超える、□ばらつきで判断不可能  |    |   |    |   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点  | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
|                                    |       | ●評価対象項目<br><b>【路床・路盤工関係】</b><br><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。<br><br><b>【アスファルト舗装工関係】</b><br><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。<br><input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> プライムコート（タックコート）が入念に施工されていることが確認できる<br><input type="checkbox"/> コア採取により厚さ・密度の管理が行われている。<br><input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><br><b>【コンクリート舗装工関係】</b><br><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。<br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。<br><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる<br><input type="checkbox"/> コア採取により厚さの管理が行われている。<br><input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 |    |   |    |   | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。<br/>                     ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。<br/>                     ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )<br/>                     ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div> |   |

考查項目別運用表

(検査員)

| 考查項目                               | 工種    | a  | a' | b | b' | c | d  | e   |
|------------------------------------|-------|--|----|---|----|---|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑦法面工事 | 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80%を超える、□ばらつきで判断不可能  |    |   |    |   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
|                                    |       | <p>●評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)</li> <li><input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</li> </ul> <p>【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</li> </ul> <p>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、所定であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</li> </ul> <p>【現場打法枠工関係（プレキャスト法枠工含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。</li> <li><input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</li> </ul> |    |   |    |   |  |   |
|                                    |       | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (      %) = 該当項目数 (      ) / 評価対象項目数 (      )</p> </div>   |    |   |    |   |  |   |

### 考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                               | 工種   | a   | a' | b | b' | c | d  | e   |   |
|------------------------------------|--|---|----|---|----|---|--|---|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑧基礎工事及び<br>地盤改良工事  | 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80%を超える、□ばらつきで判断不可能   |    |   |    |   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25.0点 |   |
|                                    | ●評価対象項目<br>【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】<br><input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。<br><input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のためにコンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。<br><input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。<br><br>【地盤改良関係】<br><input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 |   |    |   |    |   |  |   |   |
|                                    | ⑨海岸工事  | スロープ状配点方式   |    |   |    |   |  | d   | e |
|                                    |  | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。<br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。<br><br><input type="checkbox"/> コンクリートブロックの据付にあたり、損傷や緩みがないように施工している。<br><input type="checkbox"/> 基礎部分の洗掘が生じないように、捨石を堅固に均している。<br><input type="checkbox"/> 養浜砂を決定するにあたり、現地の砂の密度及び粒度分布を計測し、養浜砂が域外へ流出しないようにしている。<br><input type="checkbox"/> 自然石を利用して海岸環境の景観を改善している。 |    |   |    |   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点   |   |

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )

◆判定基準  
 加減点 ( ) = 15.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (8)

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                       | 工種                          | スロープ状配点方式  | d  | e   |
|----------------------------|-----------------------------|--|--|---|
| 3. 出来形及び出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑩コンクリート橋上部工事<br>(PC及びRCを対象) | ●評価対象項目<br><br><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査(スランブ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか)を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。<br><br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。<br><br><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> 断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> 鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視検査した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> 鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね接手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。<br><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のためにコンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> プレビーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、コンクリート標準示方書に基づいて行った。<br><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックが無い。(「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする) | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |

◆判定基準  
 加減点( ) = 15.0点×該当項目数( ) / 全項目数(18)

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目   | 工種  | スロープ状配点方式  | d  | e   |
|--|---|--|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質             | ⑪塗装工事   | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 下地処理を入念に実施していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
|  | ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (9) |  |  |   |
|  | ⑫トンネル工事                                       | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。<br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。<br><br><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。<br><br><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を所定の幅で重ね合わせて施工したことが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが所定の厚さで地山と密着するよう施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上で施工していないことが確認できる。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (14) |   |  |  |   |

考査項目別運用表

( 検 査 員 )

| 考査項目  | 工 種      | スロープ状配点方式   | d  | e   |
|---|----------|---|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質  | ⑬公園・植栽工事 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (14)  |          |   |  |   |
| ⑭防護柵（網）・標識・区画線等設置工事   |          |   |  |   |
| スロープ状配点方式<br>※主たる工種のみ評価を行う。   |          |   |  |   |
| ●評価対象項目<br><b>【防護柵（網）】</b><br><input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。<br><input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。             |          |   |  |   |
| <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点  |          |   |  |   |
| <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点   |          |   |  |   |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (7)   |          |   |  |   |
| <b>【標 識】</b><br><input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。  |          |   |  |   |
| <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点  |          |   |  |   |
| <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点   |          |   |  |   |
| <b>【区画線】</b><br><input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> ペイント式（常温式）区画線に使用する溶剤の使用量が、所定の濃度であった。<br><input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほりを取り除いて行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |          |   |  |   |
| <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点  |          |   |  |   |
| <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点   |          |   |  |   |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (8)   |          |   |  |   |

### 考查項目別運用表

(検査員)

| 考查項目                               | 工種       | スロープ状配点方式   | d   | e  |
|------------------------------------|----------|---|---|--|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑮電線共同溝工事 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 15.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (9)</p> </div> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>加減点=-12.5点</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p> <p>加減点=-25点</p> |

### 考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                               | 工種                                       | スローブ状配点方式   | d  | e   |
|------------------------------------|--|---|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑩維持工事<br>(清掃工、除草工、<br>付属物工、除雪、応<br>急処理等) | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ◆判定基準<br/>                         加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)                     </div>              | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
|                                    | ⑪修繕工事<br>(橋脚補強、耐震補<br>強、落橋防止等)           | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ◆判定基準<br/>                         加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)                     </div> | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目   | 工種      | スロープ状配点方式   | d  | e   |
|--|---------|---|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質             | ⑮機械設備工事 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。<br>(品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより評価を行う。(以下同じ))<br><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 衛生工事について、品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 空調工事について、品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 衛生工事について、施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 空調工事について、施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 耐震施工について、施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 他許可業種の施工について、施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。(各種測定値等が現場条件を勘案して優れた結果であること。)<br><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。<br>(機器の連動、警報の発報等について総合的に自主検査を行い、記録が整備されていること。)<br><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。<br>(設計図書を満足していることを確認するために、要点を整理して確認作業を行っていること。)<br><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。<br><input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。<br>(施工中の各種段階検査が計画的に行われ、結果が良好であること。)<br><input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態表示又は計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示してある。<br><input type="checkbox"/> 機器の配置について、点検・交換作業を容易にできるよう工夫している。<br><input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。また、操作制御設備の安全装置等が承諾図書のとおり機能している。<br><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品並びに箇所を明示している。<br><input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を維持管理に配慮して工夫している。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (19) |         |   |  |   |
|  | ⑯電気設備工事 | スロープ状配点方式<br><br>●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。<br>(品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより評価を行う。(以下同じ))<br><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 他許可業種の施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。<br>(各種測定値等が現場条件を勘案して優れた結果であること。)<br><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。<br>(機器の連動、警報の発報等について総合的に自主検査を行い、記録が整備されていること。)<br><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。<br>(設計図書を満足していることを確認するために、要点を整理して確認作業を行っていること。)<br><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。<br><input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査でのチェックリストの工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。<br>(施工中の各種段階検査が計画的に行われ、結果が良好であること。)<br><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点 |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (12) |         |   |  |   |

### 考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目   | 工種   | スローブ状配点方式   | d  | e  |
|--|--|---|--|--|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質   | ㊸通信設備工事・<br>受変電設備工事  | ●評価対象項目<br>電気 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 他許可業種の施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査でのチェックリストの工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</li> </ul> | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。<br><br>加減点=-12.5点 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。<br><br>加減点=-25点    |
|  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ◆判定基準<br/>                     加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 ( 12 )                 </div> |   |  |  |
|  | ㊹ 建築工事   | スローブ状配点方式<br><br>●評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</li> </ul>                     | <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して監督員が文書で指示を行い、改善された。<br><br>加減点=-12.5点                | <input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、工事請負契約書第27条に基づく修補指示を検査員が行った。<br><br>加減点=-25点 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ◆判定基準<br/>                     加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 ( 11 )                 </div> |  |   |  |  |

## 考查項目別運用表

( 検 査 員 )

| 考 査 項 目                            | 工 種             | a  | a' | b | b' | c | d | e  |   |
|------------------------------------|-----------------|--|----|---|----|---|---|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | 22 管水路工事        | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80を超える、□ばらつきで判断不可能  |    |   |    |   |   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |
|                                    |                 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 要求される材料・部品の品質が確保されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 要求される製品の性能が確保されていることができる。<br><input type="checkbox"/> 使用される材料・部品・製品等が、納入から施工されるまで適切に保管されている。<br><input type="checkbox"/> 埋戻しの層毎に厚さ・幅、及び締固めが適切であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管の埋設深、中心線の通り及び埋設位置が適切であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 弁類、機器等の設置位置並びに施工が適切であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管接合面の適切な処理がなされ、接合（ジョイント間隔等）も適切な施工であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 付帯施設（スラストブロックなど）が適切に施工されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。<br><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。<br><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> 打ち継ぎ面では、レイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒を取り除き、表面を粗にし、十分に吸水させた。そしてこれを示す記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> 断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> 鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね接手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。<br><input type="checkbox"/> コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。<br><input type="checkbox"/> 通水試験が適切に実施され、試験結果が整理されていることが確認できる。 |    |   |    |   |   |  |   |
| 23 畑地かんがい<br>工事                    | 23 畑地かんがい<br>工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞  |    |   |    |   |   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |
|                                    |                 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 要求される材料・部品の品質が確保されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 要求される製品の性能が確保されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 埋戻しの層毎に厚さ・幅、及び締固めの状況が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管の埋設深、中心線の通り及び埋設位置が適切であることが確認ができる。<br><input type="checkbox"/> 弁類、機器等の設置位置並びに施工が適切であることが確認ができる。<br><input type="checkbox"/> 管接合面の適切な処理がなされ、接合（ジョイント間隔等）も適切な施工であることが確認ができる。<br><input type="checkbox"/> 付帯施設（スラストブロックなど）が適切に施工されていることが確認ができる。<br><input type="checkbox"/> 施工前後に必要な水圧が確保されているか確認し、監督員に報告している。<br><input type="checkbox"/> 散水機器の適切な散水状況が確認できる。   |    |   |    |   |   |  |   |

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )

⑤ 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ⑥ 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ⑦ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )

考査項目別運用表

( 検 査 員 )

| 考査項目                               | 工種       | a   | a' | b | b' | c | d   | e  |
|------------------------------------|----------|---|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑭ ほ場整備工事 | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br/>                     [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br/>                     ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80を超える、□ばらつきで判断不可能                 </p> <p> <b>●評価対象項目</b><br/> <b>【一般事項関係】</b><br/> <input type="checkbox"/> 施工区域内の地表水及び地下水を排除するよう工夫し、過湿な土質状態を回避して土工を行っている。                 </p> <p> <b>【整地関係】</b><br/> <input type="checkbox"/> 表土中の石礫、植物根株が営農の障害とならないよう丁寧に除去されている。<br/> <input type="checkbox"/> 表土はぎ取り、基盤切盛、基盤整地が適正な施工がなされていることが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 表土整地が適切に施工されており、表土厚さが均一に確保されていることが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 畦畔が適切に締固められ、表面の仕上げや通りが良い。<br/> <input type="checkbox"/> 基盤整地における盛土部分の適切な転圧状況が確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 切土・盛土法面が適正な勾配で仕上がり、法面の安定が確保されている。<br/> <input type="checkbox"/> ほ場法面は、雑物の混入、クラック等がないよう丁寧に表面を仕上げてあり、面の通りが良い。<br/> <input type="checkbox"/> 進入路は、道路との高低差を考慮し、営農、安全性に配慮して適切に施工されている。<br/> <input type="checkbox"/> 湧水処理、暗渠排水が適切に施工され、表土面での湿潤状態が確認されない。                 </p> <p> <b>【道路関係】</b><br/> <input type="checkbox"/> 道路の縦断勾配を工夫し、ほ場への乗入れや、地区外との取付に配慮した施工である。<br/> <input type="checkbox"/> 道路築立における盛土部分の適正な転圧状況が確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 法面は、雑物の混入、クラック等がなく、表面の仕上げや通りが良い。<br/> <input type="checkbox"/> 道路面は、表面の仕上げや通りが良い。                 </p> <p> <b>【用排水路関係】</b><br/> <input type="checkbox"/> 通水能力の範囲内で縦断勾配を工夫し、用水取入れや、排水効果に配慮した施工である<br/> <input type="checkbox"/> 水路のコンクリート表面に、クラックや欠損・損傷等が無いことが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 用水取水工、ほ場排水工とパイプ等の取付部は、モルタル等で適切に接合されていることが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 伸縮目地、止水板等、接合部が適切に施工されていることが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 水路構造物の埋戻しは、適正に締固められていることが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 水路法面は、雑物の混入、クラック等がなく、表面の仕上げや通りが良い。<br/> <input type="checkbox"/> 用水取水工、ほ場排水工は、日常の管理及び営農に配慮して適切な位置に設置されている<br/> <input type="checkbox"/> 用水取水工、ほ場排水工とパイプ等の取付部は、モルタル等で適切に接合されていることが確認できる。                 </p> <p> <b>【二次製品関係】</b><br/> <input type="checkbox"/> 製品等の規格・寸法が材料承認を受けた製品等で、欠損・損傷等がないことが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> ブロック積コンクリートの胴込め・裏込めコンクリートが適切に施工していることが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 二次製品据付において、敷モルタル等の適正な施工で一点支持でないことが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 製品の設置基面が平滑に仕上げられており、安定して据え付けられていることが確認できる。<br/> <input type="checkbox"/> 基礎工、裏込め工、接合モルタル等が適切に施工されていることが確認できる。                 </p> |    |   |    |   | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。                 </p> | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。                 </p> |

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値 (      %) = 該当項目数 (      ) / 評価対象項目数 (      )

## 考査項目別運用表

**( 検 査 員 )**

| 考 査 項 目                            | 工 種                | a  | a' | b | b' | c | d  | e   |
|------------------------------------|--------------------|--|----|---|----|---|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑳ 農道工事<br>(舗装工事以外) | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br>※ ばらつきの判断は別紙－4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80を超える、□ばらつきで判断不可能  |    |   |    |   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |
|                                    |                    | <p>●評価対象項目</p> <p>【土工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 悪天候や地下水等による現場への影響を防止する対策を提案し実施したことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛土部の地山段切りや、支障となる根株等の処理が適切になされていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床置換工の掘削に当たり、路床面以下を乱さないように丁寧に行為されて品質が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 切土・盛土法面が適正な勾配で仕上がり、法面の安定が確保されている</li> <li><input type="checkbox"/> 法面は、雑物の混入、クラック等がなく、表面の仕上げや通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物等の埋戻しは、適切に締固められていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂流出防止対策を行い下流域の環境保全を図って施工したことが確認できる。</li> </ul> <p>【コンクリート構造物関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 打ち継ぎ面では、レイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒を取り除き、表面を粗にし、十分に吸水させた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね接手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視検査した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。</li> <li><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）</li> </ul> <p>【路床・路盤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法で現場CBR値を測定していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーローリングを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路体・路床の砂置換法による土の密度試験を実施して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚さを20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立ち、路床面、下層路盤面の浮石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路盤の現場密度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 特別仕様書の規定により実施した平板載荷試験が、仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</li> </ul> |    |   |    |   |  |   |

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  | <p><b>【アスファルト舗装関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたり、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時（初期締固め前）等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 既存・新設構造物等との取合いや接合の処理が適切で、安全な通行が確保されるいることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたり、気象条件を配慮していることが確認できる。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 密度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><b>【コンクリート舗装工関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だち、上層路盤面の浮石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が 1m 以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーに損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。</li> </ul> <p><b>【二次製品関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 製品等の規格・寸法が材料承認を受けた製品等で、欠損・損傷等がないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 製品の設置基面が平滑に仕上げられており、安定して据え付けられていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次製品据付において、敷モルタル等の適正な施工で一点支持でないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎工、裏込め工、収縮目地、接合モルタル等の施工が適切に施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ブロック積コンクリートの胴込め・裏込めコンクリートが適切に施工していることが確認できる。</li> </ul> <p><b>【法面工関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映させて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ラス張り等が隙間無く施工され、重ね幅が確保されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工時期等が適切で、吹付工法の目的を確実に達成し、良好な品質であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均一であることが確認できる。</li> </ul> |  |  |
|  |  | <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（      %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ）</p>  |  |  |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                               | 工種      | a   | a' | b | b' | c | d   | e  |
|------------------------------------|---------|---|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ㉔ ため池工事 | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br/>                     [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br/>                     ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80を超える、□ばらつきで判断不可能</p> <p>●評価対象項目</p> <p>【堤体工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基礎地盤の処理は仕様書に基づき適切に施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 地表水及び地下水を排除するよう工夫し、適切な土質状態で土工を行っていることが確認できる</li> <li><input type="checkbox"/> 築堤材料は適切な土質状態で、確実に締固め作業を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 湧水処理は堤体や構造物に悪影響を与えないよう適切に施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 地山や構造物との接続部は、確実な締固めを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 旧底種の処理は適切に行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土質材料の品質管理は、施工中の適切な時期に確実に実施されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土質材料の締固め試験、土粒子の密度試験と施工中の土の含水比試験、現場密度試験の値が、要求する仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施設の総合性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂流出防止対策を行い、下流域の環境保全を図って施工したことが確認できる。</li> </ul> <p>【コンクリート構造物関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 打ち継ぎ面では、レイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒を取り除き、表面を粗にし、十分に吸水させた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね接手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視検査した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。</li> <li><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂流出防止対策を行い下流域の環境保全を図って施工したことが確認できる。</li> </ul> <p>【二次製品関係】。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 二次製品等の規格寸法が材料承認を受けた製品等で、欠損等がないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 水路のコンクリート表面に、クラックや欠損・損傷等が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 目地からの漏水や通水障害が発生しないよう、接合部が適切に施工されていることが確認できる。</li> </ul> |    |   |    |   | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p> |

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )

| 考査項目                       | 工種       | a   | a' | b | b' | c | d   | e  |
|----------------------------|----------|---|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ<br><br>II. 品質 | ⑰ 用排水路工事 | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br/>                     [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br/>                     ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80を超える、□ばらつきで判断不可能                 </p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象項目                 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。</li> <li><input type="checkbox"/> レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの表面乾燥を防止し、水和反応が十分に進むまで養生したことを評価する。</li> <li><input type="checkbox"/> 打ち継ぎ面では、レイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒を取り除き、表面を粗にし、十分に吸水させた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね接手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視検査した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 伸縮目地、止水板等、接合部が適切に施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。</li> <li><input type="checkbox"/> ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 製品等の規格・寸法が材料承認を受けた製品等で、欠損・損傷等がないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎工、裏込め工、接合モルタル等が適切に施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 水路及び構造物の埋戻しは、適正に締められていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 水路法面は、雑物の混入、クラック等がなく、表面の仕上げや通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 用水取水工、ほ場排水工のパイプ等の取付部は、モルタル等で適切に接合されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 用水取水工、ほ場排水工は、日常の管理及び営農に配慮して適切な位置に設置されている                         <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂流出防止対策を実施して下流域の環境保全を図りながら、適正な施工で品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現地状況を勘察し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組み、品質の良さが確認できる</li> </ul> </li> </ul> |    |   |    |   | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。                 </p> | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。                 </p> |

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値 (      %) = 該当項目数 (      ) / 評価対象項目数 (      )

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目   | 工種       | スロープ状配点方式  | d  | e   |
|--|----------|--|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質             | 28 上水道工事 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 管類及び弁栓類の据付け、接合は、配管技術者による施工が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管の吊込み、据付け、その他の取扱いに際し、管表面の保護対策が取られている。<br><input type="checkbox"/> 接合要領に基づく作業手順が確認でき、チェックシートが適切にまとめられている。<br><input type="checkbox"/> 水圧試験における水密性が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管切断の加工が規定どおり実施され、切管端面補修が適切に行われていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 給水管について、取扱い、接合・配管状況が適切であることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管の内面は常に清潔に保たれ、布設終了ごとに蓋をし、土砂等が入らない対策が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管材等、工事用資材等が適切に保管されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 切管を使用する場合、開先面からグラインダーで規定の形状に仕上がっているのが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 水管橋及び橋梁添架管の外表面防食が設計図書通りに施工されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管は全長にわたって均等に布設されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管の切替において、準備、施工体制が良く、断水予定時間内に完了した。また、切替に伴う断水周知等、住民からの苦情がなかった。<br><input type="checkbox"/> 給水管の切替工事において、事前に給水管の所有者に工事の内容を説明し、所有者の理解を得たうえで、適切に切替工事を行なった。<br>また、切替後、切替洩れ等のトラブルが無かった。   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (13) |          |  |  |   |
|  | 29 下水道工事 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 管及びマンホール等の吊込み、据付けが適切に施工されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管渠（管布設・矩形渠布設、推進）工において出来形管理基準を満足しており、屈曲や沈下がない。<br><input type="checkbox"/> 管渠においてシール材・滑材・接着材等のはみ出し等がない。<br><input type="checkbox"/> マンホール用可とう性継ぎ手が適切に設置されている。<br><input type="checkbox"/> 管口仕上げ及びインパートの表面仕上げが良好である。<br><input type="checkbox"/> 人孔については、各メーカーの施工要領に基づいて施工され、連結部には止水シール・止水ゴム・緊結金具が適切に使用されている。<br><input type="checkbox"/> 人孔において、各部材にはクラック等がなく漏水がない。<br><input type="checkbox"/> 人孔の足掛金物の位置、方向が適切であり、鉄蓋設置においてガタツキがない。（改良工事等）<br><input type="checkbox"/> インパートは形状、勾配等が適正である。<br><input type="checkbox"/> 人孔及び柵の天端は周辺地盤になじんでおり、周辺の復旧仕上がりが良い。<br><input type="checkbox"/> 支管取付の施工が適切に行なわれていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 取付管が適切に施工（接合・配管状況を含む）されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管材等の工事用資材が適切に保管されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 管路内に土砂、モルタル、材料の断片等がなく清掃されている。<br><input type="checkbox"/> 掘削時の土留めや推進時の掘進による周辺地盤への影響が見られない。<br><input type="checkbox"/> 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行なわれていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 常に切羽及び地表面での状態を観測して施工されていることが確認できる。<br><input type="checkbox"/> 推進作業等がデータで確認できる。<br><input type="checkbox"/> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |
| ◆判定基準<br>加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (19) |          |  |  |   |

| 考査項目  | 工種              | a   | a' | b | b' | c | d   | e  |
|---|-----------------|---|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ<br><br>II. 品質  | ③0 コンクリート二次製品工事 | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞<br/>                     [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br/>                     ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。□ばらつきが概ね50%以内、□ばらつきが概ね80%以内、□ばらつきが80を超える、□ばらつきで判断不可能                 </p> <p>                     ●評価対象項目                 </p> <p> <b>【共通】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。</li> <li><input type="checkbox"/> JIS規格外品について、仕様書で規定する規格、品質を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次製品の保管、吊込み、据付け等に十分注意を払っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土留め、ウェルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 線形・勾配等が設計図書に基づき入念に管理されている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 <span style="font-size: 2em;">{</span> <u>理由:</u> <span style="font-size: 2em;">}</span></li> </ul> <p> <b>【擁壁類（補強土擁壁は除く）】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じてない。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料の連結または、かみ合わせが適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 端部における地山とのすりつけが適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 丁張りを2重、3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意をはらっている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート板擁壁工の施工にあたり、ソイルコンクリートの配合、練混ぜ、打込み、締固め及び養生が適切に行なわれている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 <span style="font-size: 2em;">{</span> <u>理由:</u> <span style="font-size: 2em;">}</span></li> </ul> <p> <b>【用排水施設】</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみ良く施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが特に入念に行なわれている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施設の流末は侵食、滞留等が生じないように処理されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や継目部からの漏水も見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 継目部の目地モルタル等が適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 <span style="font-size: 2em;">{</span> <u>理由:</u> <span style="font-size: 2em;">}</span></li> </ul> |    |   |    |   | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。                 </p> | <p> <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。                 </p> |
| <p>                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。<br/>                     ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。<br/>                     ③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )                 </p> |                 |   |    |   |    |   | <p>●判断基準</p> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>                         |  |

### 考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                               | 工種             | スロープ状配点方式  | d  | e   |
|------------------------------------|----------------|--|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ③1 地下壕対策<br>工事 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 設計図書に基づく埋め戻し材の配合試験及び、試験練りが行われており、適切な埋め戻し材料の規格が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。<br><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。<br><input type="checkbox"/> 使用材料の使用量が適正であることが確認できる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ◆判定基準<br/>                         加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)                     </div>   | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |
|                                    | ③2 水管橋         | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。<br><input type="checkbox"/> 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。<br><input type="checkbox"/> 据付基準線及び基準高は図面通り施工されている。<br><input type="checkbox"/> 基礎ボルトの締め付けが適切に行われている。<br><input type="checkbox"/> 溶接施工上の注意事項（共通仕様書）が守られている。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ◆判定基準<br/>                         加減点 ( ) = 15.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)                     </div> | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |

| 考査項目                               | 工種    | スロープ状配点方式   | d  | e   |
|------------------------------------|-------|---|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質 | ③ 山腹工 | <p>●評価対象項目<br/>山腹工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料の規格にばらつきがない。</li> <li><input type="checkbox"/> 各工種の施工に適した法面整形，階段切付が行われており，障害となる根株，転石等が除去されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 山腹工が雨水等により被災されないような排水対策が実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 端部における地山とのすりつけが馴染みよく施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 植生の生育に配慮した丁寧な施工がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 植栽木に損傷や病虫害がなく，植栽，施肥の施工にあたり，苗木の生育に配慮した丁寧な施工がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 背面土の流出防止に配慮した施工がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 各工種の特徴，要点を理解し，施工に創意工夫が見られる。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 15.0点 × 該当項目数 ( ) / 全項目数 (9)</p> </div> | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |

### 考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目   | 工種                                  |           | a  | a'       | b       | b'       | c          | d  | e   |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |
|--|-------------------------------------|-----------|--|----------|---------|----------|------------|--|---|--|--|-----------|--|--|-------|-------|---------|-----|-------|---|----|---|------------|----|---|----|------------|---|----|---|-------|----|---|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>II. 品質   | 上記以外の工事<br>(情報ボックス、浚渫<br>工等) 又は合併工事 | <A>       | 優れている  | bより優れている | やや優れている | cより優れている | 他の評価に該当しない | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |
|  |                                     | <B>       | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照><br>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]<br>※ ばらつきの判断は別紙-4参照 |          |         |          |            |  |   |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |
| <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由: _____</p> <p>●判断基準</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>&lt;A&gt; 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事<br/>ex) 浚渫工、取壊し工等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 該当項目が90%以上..... a</p> <p>※ 該当項目が80%以上90%未満..... a'</p> <p>※ 該当項目が70%以上80%未満..... b</p> <p>※ 該当項目が60%以上70%未満..... b'</p> <p>※ 該当項目が60%未満..... c</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>&lt;B&gt; 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>② 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div> </div> </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> |                                     |           |  |          |         |          |            |  |   |  |  | ばらつきで判断可能 |  |  | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | 75%以上90%未満 | a' | b | b' | 60%以上75%未満 | b | b' | c | 60%未満 | b' | c | c |
|  |                                     | ばらつきで判断可能 |  |          |         |          |            |  |   |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |
|  |                                     | 50%以下     | 80%以下  | 80%を超える  |         |          |            |  |   |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |
| 評価値  | 90%以上                               | a         | a'   | b        |         |          |            |  |   |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |
|  | 75%以上90%未満                          | a'        | b  | b'       |         |          |            |  |   |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |
|  | 60%以上75%未満                          | b         | b'   | c        |         |          |            |  |   |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |
|  | 60%未満                               | b'        | c  | c        |         |          |            |  |   |  |  |           |  |  |       |       |         |     |       |   |    |   |            |    |   |    |            |   |    |   |       |    |   |   |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                                  | 工種                                       | スローブ状配点方式  |
|---------------------------------------|--|--|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>III. 出来ばえ | コンクリート構造物工事<br>砂防構造物工事<br>海岸工事<br>トンネル工事 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 欠損、粗骨材の露出がない。<br><input type="checkbox"/> コンクリートの沈下に起因するひび割れがない。<br><input type="checkbox"/> コンクリートの水和熱に起因するひび割れがない。<br><input type="checkbox"/> コンクリートの収縮に起因するひび割れがない。<br><input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートの場合は、鉄筋に達するひび割れがない。<br><input type="checkbox"/> 打継目が一体化しており、この部分の補修の必要がない。<br>◆判定基準<br>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)   |
|                                       | 土工事<br>(盛土・築堤工事等)                        | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 締固めが良好で沈下が終息している。<br><input type="checkbox"/> 勾配変化点の処理がスムーズである。<br><input type="checkbox"/> 将来の沈下を見越した天端の上げ越し高が適正である。<br><input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけがスムーズである。<br><input type="checkbox"/> 法面のふくれ、亀裂、浸出水がない。<br>◆判定基準<br>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)   |
|                                       | 切土工事                                     | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。<br><input type="checkbox"/> 切土法面に浮き石や根株などが残っていない。<br><input type="checkbox"/> 切土と盛土の接続部では、すり付け切土(勾配1:4)を行い、支持力の急変を防いでいる。<br><input type="checkbox"/> 完成後の通常の雨によって法面が損傷することを防止するための簡易な処理(局所的なブルーシート養生等)がなされている。<br><input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけがスムーズである。<br><input type="checkbox"/> 雨水や滲出水による法面浸食がみられない。<br><input type="checkbox"/> 残土及び伐木の処理が適正である。<br>◆判定基準<br>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (7) |
|                                       | 護岸・根固・水制工事                               | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> ブロックが整積みの場合は空隙がない。乱積みの場合は空隙が均一である。<br><input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。<br><input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。<br><input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。<br><input type="checkbox"/> 水衝部を有効に保護している。<br>◆判定基準<br>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)  |
|                                       | 鋼橋工事                                     | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 補修を要する箇所がなかった。<br><input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。<br><input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。<br><input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。<br><input type="checkbox"/> ボルト部の防食処理が十分である。<br>◆判定基準<br>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)  |
|                                       | 地すべり防止工事                                 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。<br><input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。<br><input type="checkbox"/> 不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。<br><input type="checkbox"/> 排水ボーリングの場合は排水量が安定している。アンカー工の場合はアンカー群の引張力のバラツキが少ない。抑止杭工の場合は滑動が終息している。<br>◆判定基準<br>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)   |
|                                       | 舗装工事                                     | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。<br><input type="checkbox"/> 表面の骨材の空隙が均一で密実である。<br><input type="checkbox"/> 端部処理が良い。<br><input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。<br><input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。<br><input type="checkbox"/> 乳剤や合材による周辺の汚れがない。<br>◆判定基準<br>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)   |
|                                       | 法面工事                                     | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 地山形状に無理なく密着している。<br><input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。<br><input type="checkbox"/> 端部処理が良い。<br><input type="checkbox"/> 植生工の場合は発芽が均一である。モルタル吹付の場合は厚みが均一である。構造物の場合は補修を要するひび割れがない。<br>◆判定基準<br>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)  |

考查項目別運用表

(検査員)

| 考查項目                 | 工種                 | スロープ状配点方式   |
|----------------------|--------------------|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ | 基礎工事<br>(地盤改良等を含む) | <ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 地盤支持力が均一である。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋戻土の締固め度が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)</p> </div>  |
| Ⅲ. 出来ばえ              | コンクリート橋上部工事        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 欠損、粗骨材の露出がない。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの沈下に起因するひび割れがない。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの水和熱に起因するひび割れがない。</li> <li><input type="checkbox"/> 支承部の天端に水溜りができないように、水勾配をつけている。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの収縮に起因するひび割れがない。</li> <li><input type="checkbox"/> 打継目が一体化しており、この部分の補修の必要がない。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p> </div> |
|                      | 塗装工事<br>(工場塗装を除く)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 補修を要する箇所がなかった。</li> <li><input type="checkbox"/> 下地処理が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 色むらがみられない。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)</p> </div>  |
|                      | 公園・植栽工事            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 強風に対する備えが十分である。</li> <li><input type="checkbox"/> 樹種の取り合わせ、配置のバランスがよい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)</p> </div>   |
|                      | 防護柵(網)工事           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 法線の出入りが目立たない。</li> <li><input type="checkbox"/> 端部処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎の根入れが十分である。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p> </div>   |
|                      | 標識工事               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 既設の標識や信号機との干渉を回避して設置している。</li> <li><input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 標識板の文字のバランスや色がよい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)</p> </div>   |
|                      | 区画線工事              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●評価対象項目</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。</li> <li><input type="checkbox"/> 視認性が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 接着状態が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 現地に合わせて、車両の動線が滑らかになるように作図されている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5. 0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)</p> </div>   |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                                | 工種                | スロープ状配点方式  |   |
|-------------------------------------|-------------------|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>Ⅲ. 出来ばえ | 機械設備工事            | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 端部や貫通部分の処理等について、きめ細やかな施工がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。<br/>(外構のすりつけ、色彩計画等について関係者と協議し、問題が無いこと。)</li> <li><input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施設の長寿命化又は維持管理を軽減するために有効な対策を検討し、監督員に提案した。</li> <li><input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</li> </ul>                | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (5)</p> |
|                                     | 電気設備工事            | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 配線や貫通部分の処理等について、きめ細やかな施工がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施設の長寿命化又は維持管理を軽減するために有効な対策を検討し、監督員に提案した。</li> <li><input type="checkbox"/> 点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を維持管理に配慮して工夫している。</li> </ul> | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p> |
|                                     | 維持修繕工事            | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。</li> <li><input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 補修前より強度や耐久性が向上している。</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)</p> |
|                                     | 電線共同溝工事           | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。</li> <li><input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 共同溝内への浸水がない。</li> </ul>  | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (4)</p> |
|                                     | 通信設備工事<br>受変電設備工事 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 配線や貫通部分の処理等について、きめ細やかな施工がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施設の長寿命化又は維持管理を軽減するために有効な対策を検討し、監督員に提案した。</li> <li><input type="checkbox"/> 点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を維持管理に配慮して工夫している。</li> </ul> | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p> |
|                                     | 建築工事              | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 関連工事(工種)等又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</li> <li><input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。</li> </ul>               | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p> |
|                                     | 管水路工事             | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 管路の配置が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 給水栓(引込管)と現地形とのなじみが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物等との取付けが適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 弁類、機器類の取付状況が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物等の仕上がりが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装復旧部の平坦性が良く、既設舗装面との段差がない</li> <li><input type="checkbox"/> 弁類、機器類の埋設面が適切である。</li> </ul>                                   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (7)</p> |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目                                | 工種       | スロープ状配点方式  |   |
|-------------------------------------|----------|--|---|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>Ⅲ. 出来ばえ | 畑地かんがい工事 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 埋戻し箇所の仕上がりがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 管路の配置が適切である</li> <li><input type="checkbox"/> 給水栓や散水施設と現地形とのなじみが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物等との取付けが適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 農地等の復旧が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の仕上がり面が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 散水施設の配置が適切である</li> <li><input type="checkbox"/> 営農（機器操作，作業）に支障となるものがない</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点（ ） = 5.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（8）</p>  |
|                                     | ほ場整備工事   | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 表土に雑物や石礫の混入が認められない。</li> <li><input type="checkbox"/> 表土の砕土が十分に行われ均平度がよい</li> <li><input type="checkbox"/> 土工面の仕上がりがよい</li> <li><input type="checkbox"/> 道路工、水路工、畦畔工の仕上げがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 用・排水路は勾配を考慮し、現場条件に合わせ適切に施工されている</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の仕上がり面が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> ほ場進入路、用水取水工、ほ場排水工が適切に配置され仕上がりがよい</li> <li><input type="checkbox"/> 通常の農地・施設の管理上、危険な箇所が見られない</li> <li><input type="checkbox"/> 表土面に偏った湿潤状態が見られない</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点（ ） = 5.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（9）</p>  |
|                                     | 農道工事     | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現道との接続が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 路肩部、路側部の処理が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物等とのなじみがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の仕上がり面が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 路面の平坦性がよい</li> <li><input type="checkbox"/> 降雨時の滞水が生じないように、排水を考慮した仕上げがなされている</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点（ ） = 5.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（8）</p>  |
|                                     | ため池工事    | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 天端面の仕上がりがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 法面の仕上がりがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物等と土工のなじみがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 付帯構造物の欠損がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の仕上がり面が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の天端仕上げ、端部仕上げ等が良い</li> <li><input type="checkbox"/> 遮水シート、張りブロック等の施工が適切で、仕上がりがよい</li> <li><input type="checkbox"/> 堤体の通りがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の通りがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる</li> <li><input type="checkbox"/> 地山、現況地形との接続が適切である。</li> </ul>        | <p>◆判定基準</p> <p>加減点（ ） = 5.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（11）</p> |
|                                     | 用・排水路工事  | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土工面の仕上がりがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 水路天端と埋戻し面の擦り付けがよい</li> <li><input type="checkbox"/> 周辺からの流入処理が適切に行われている</li> <li><input type="checkbox"/> 付帯構造物に欠損がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 目地等、材料間の接続部分の仕上がりがよい</li> <li><input type="checkbox"/> 端部仕上げ(擦り付け)等が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 路線の通りがよい</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の仕上がり面が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 水路内に土砂が堆積していない。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる</li> <li><input type="checkbox"/> 水抜き等が良好に機能していることが確認できる</li> </ul> | <p>◆判定基準</p> <p>加減点（ ） = 5.0点 × 該当項目数（ ） / 全項目数（11）</p> |

考査項目別運用表

( 検 査 員 )

| 考 査 項 目                             | 工 種                  | スロープ状配点方式   |  |
|-------------------------------------|----------------------|---|--|
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>Ⅲ. 出来ばえ | 山腹工                  | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 植栽木等の活着状況が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 法切工及び・二級芝筋工・積苗工・柵工等の通り、仕上がり良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 積苗工・柵工等の関連構造物などのすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 地山とのすりつけがよい</li> <li><input type="checkbox"/> 水路工等排水施設が関連構造物へなじみ良く取り付けられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p>  |
|                                     | 上水道工事                | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 弁、栓及び鉄蓋の傾き、ガタツキがない。</li> <li><input type="checkbox"/> 管口の端部処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 弁、栓類の鉄蓋表面及び弁室内部が清掃されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設路面とのすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物へすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 給水管の取り出し部の状態が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 量水器質等の状態が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 管布設の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 補修箇所がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋設標示ピンの施工状況が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 管接合が適切である。</li> </ul> | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (13)</p> |
|                                     | 下水道工事                | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 漏水がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 管口の端部処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> マンホール・ます等と既設路面の取合いが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> インパートの仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 路面とのすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> マンホール、ます等の目地仕上げが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 管の勾配管理が適切である。</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (8)</p>  |
|                                     | コンクリート二次製品<br>(一般土木) | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 目地の仕上げが良く、クラック、破損等が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 断面の変化点等の施工方法が適切で、強度、見ばえともに配慮がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 他の構造物とのすりつけが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 勾配や基準高、曲線等馴染みよく施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p>  |
|                                     | 地下壕対策工事              | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 構造物の肌が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の表面処理が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> クラックがない。</li> <li><input type="checkbox"/> 漏水がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 地山との取合いが良い。</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (6)</p>  |
|                                     | 水管端                  | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 表面に傷、錆、補修箇所がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組み立ての均一性が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 管の通りがよい。</li> <li><input type="checkbox"/> 付帯コンクリート構造物の肌が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 付帯コンクリート構造物の通りが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 付帯コンクリート構造物にクラックがない。</li> <li><input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 管接合が適切である。</li> </ul>   | <p>◆判定基準</p> <p>加減点 ( ) = 5.0点×該当項目数 ( ) / 全項目数 (8)</p>  |

### 考査項目別運用表

**( 検 査 員 )**

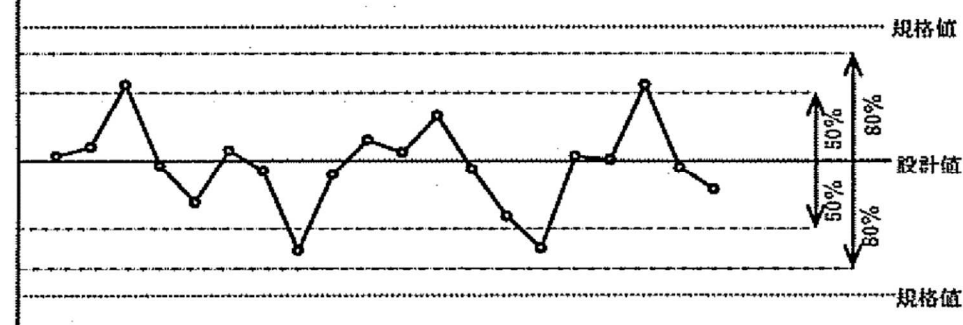
| 考 査 項 目                             | 工 種                   | a   | b       | c   | d     |
|-------------------------------------|-----------------------|---|---------|---|-------|
|                                     |                       | 優れている   | やや優れている | 他の評価に該当しない  | 劣っている |
| 3. 出来形<br>及び<br>出来ばえ<br><br>Ⅲ. 出来ばえ | 上記以外の工事<br>又は<br>合併工事 | ●評価対象項目<br><input type="checkbox"/> 理由： _____<br><br><input type="checkbox"/> 理由： _____<br><br><input type="checkbox"/> 理由： _____<br><br><input type="checkbox"/> 理由： _____<br><br><input type="checkbox"/> 理由： _____<br><br>※該当工種からの評価対象項目で評価を行なう。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。 |         | ●判断基準<br>該当4項目以上・・・a<br>該当3項目・・・b<br>該当2項目・・・c<br>該当1項目以下・・・d |       |

1. 出来形及び品質のばらつきの考え方

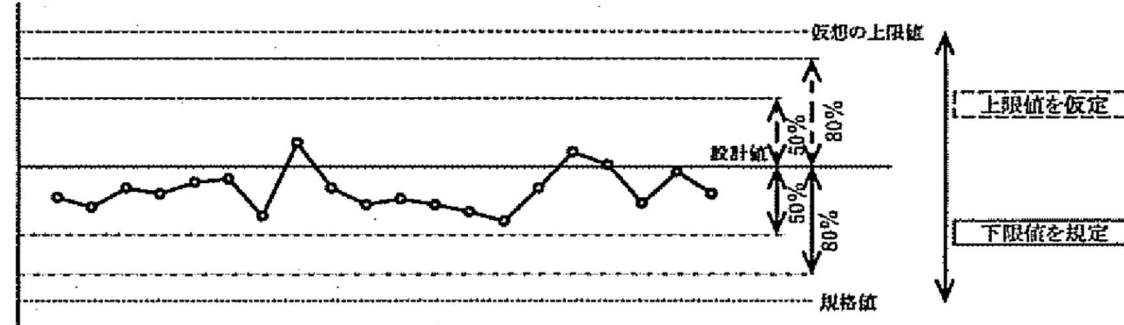
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

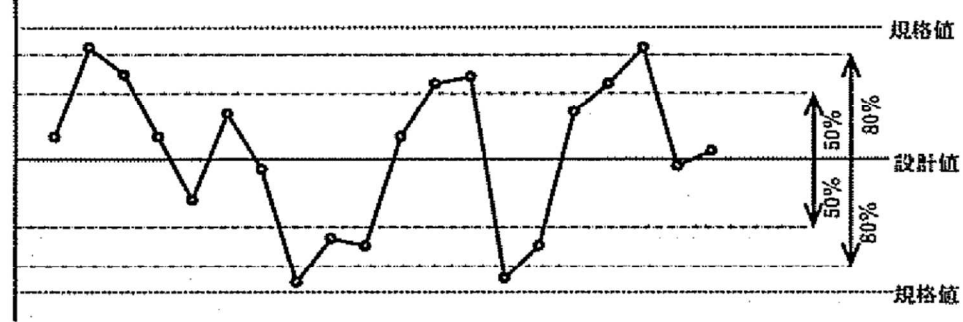
①ばらつきが50%以下と判断できる例



(下限値のみの場合)

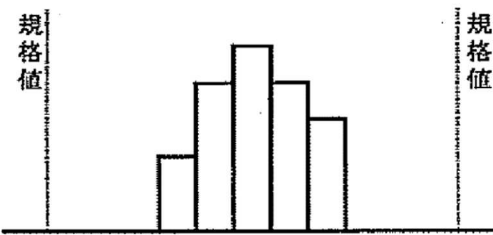


②ばらつきが80%以下と判断できる例

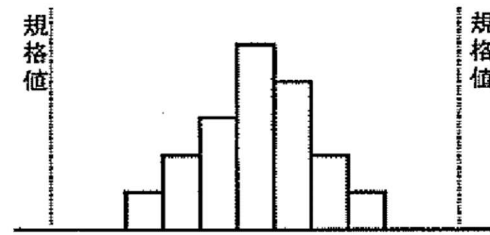


[度数表またはヒストグラムの場合]

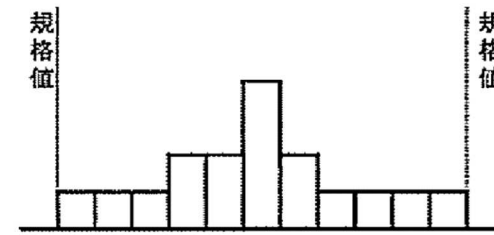
ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は「合併工事」欄を活用する。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、C評価とする。
- (2) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがない」場合、無処理の場合は、d評価とする
- (3) クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、e評価とする。

4. その他

- ・「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行なう。
- ・「4. 工事特性」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行なう。